

# 会 議 録

(敬省略)

会 議	平成24年度第1回みのかも定住自立圏構想共生ビジョン懇談会 第1回人口・交流拡大WG部会
日 時	平成24年7月9日(月) 19時40分から21時10分まで
場 所	美濃加茂市生涯学習センター202会議室
出 席 者	委員7名 高井俊樹(美濃加茂中学高等学校/美濃加茂市) 太田悟実(中日本自動車短期大学/坂祝町) 熊崎満夫(富加町教育委員会/富加町) 吉村 研(NPO法人イベント倶楽部/七宗町) 山田直和(八百津町教育委員会/八百津町) 藤井宏之(白川観光協会/白川町) 杉田正和(東白川村社会教育委員会/東白川村) [欠席 佐伯敏充(佐伯総合建設/川辺町)] 事務局:美濃加茂市定住自立圏推進室 井戸 伸 富加町総務課 石井秀樹
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会長及び副部会長の選任</li> <li>・ワン・ワールド事業の進捗状況</li> <li>・人口・交流拡大WG事業説明「地域まるごと博物館スタンプラリー事業」「あい愛バスの富加延伸事業」</li> <li>・みのかも定住自立圏地域力分析ブックについて</li> <li>・意見交換</li> </ul>

事務局	司会(定住自立圏推進室井戸伸)
委員	部会長及び副部会長の選任についてご意見をお聞かせください。
部会長	部会長に高井俊樹委員、副部会長に太田悟実委員にお願いしたい。 (承諾)
副部会長	あいさつ みのかも定住自立圏も昨年度から加茂郡全町村が参加し枠組が固まりました。今後、この部会の関係事業について概略的な面で各市町村の問題点などふまえて意見や提案を出していきたい。
事務局	あいさつ 中日本自動車短期大学にも留学生が多く、美濃加茂市と坂祝町にも外国人が多いということもあり、これまでは外国人の問題について話をしてきたが各市町村が抱える問題は異なると思われます。実現するかどうかは別として問題点や提案を出して欲しい。

- 事務局 本日は、平成22年度のWG提案であるワン・ワールド事業の進捗、教育交流分野の事業、そして地域力分析ブックを説明したうえで皆さまの定住自立圏についていろいろなご意見をいただきたいと思ひます。
- A委員 大きな視点から事業の推進をみていきたい。ワン・ワールド事業は、定住外国人団体や国際交流団体が集まり設立したもの。美濃加茂市と坂祝町には定住外国人が多いため、のぞみ教室、定住外国人自立支援センターの運営事業など連携した支援が進んでいます。
- 事務局 市町村によってニーズが異なります。定住外国人を支援する事業は、比較的外国人が多く暮らしている美濃加茂市や坂祝町、富加町、川辺町が連携して事業を進めています。のぞみ教室は、古井小学校で実施していますが、他の町も利用可能です。定住外国人自立支援センターは、美濃加茂市と坂祝町で設置しています。ワン・ワールド委員会は、美濃加茂市や各町の外国人主体の団体が情報交換や事業展開をしています。
- C委員 資料27ページ（多文化共生レストラン）の説明。  
多文化共生レストランの事業である美濃加茂市産業祭へ来て試食を試してみた。今後はどのような展開を行いますか？
- 事務局 レストランでの食事の提供とあわせて人との交流が大切です。当事業とは直接関係していないが、ワン・ワールド委員会の構成団体である美濃加茂市内の定住外国人団体が、実際に定住外国人自立支援センターでブラジルの団体のほか、中国の団体がレストランをはじめました。少しずつ地域に浸透していると考えています。
- C委員 地域から「定住自立」という言葉が少しずつ聞こえてくるようになりました。レストラン事業等を圏域外で行いPRしてはどうでしょうか。
- A委員 ほかの町村でも外国人の食文化を提供することにより交流が進みます。町の産業祭などで出店をとという情報があれば提供してほしい。
- 部会長 人口・交流拡大WGに関する事業で進んでいるものを説明願ひたい。  
事務局 「地域まるごと博物館スタンプラリー事業」は全市町村が参加しています。八百津町から文化・博物館の連携希望が強く、旧八百津発電所や杉原千畝記念館といった貴重な歴史資源をもっと地域の人たちに訪れてもらいたい、また歴史系職員と本市学芸員との情報交換を進めたいという希望がありました。今回のスタンプラリー企画は、知っているようで意外と知らない周辺市町村について、1回でも多く訪れてもらおうというものです。
- 事務局 また、「あい愛バスの富加延伸事業」は、美濃加茂市と富加町で取り組んでいる事業です。定住自立圏事業は全ての市町村で同じ事業を実施するだけでなく、1市1町で行うこともできます。この事業は美濃加茂市と富加町の条件が一致してスタートすることができました。市町村によって生活課題が違いますのでこのような方法ができます。
- 事務局 （富加町）富加町には公共交通のバスがなかったことから、生活のため

の移動手段を確保したいと、あい愛バスの連携希望がありました。今回は、美濃加茂市もデマンドバス導入によりバス車両を別に活用できるというきっかけがあり、双方のニーズがマッチして事業化できたもの。これからも利用促進を進めていきたい。また、町内を走るバスを見かけることによって、定住自立圏が進んでいるな、と町民の方が感じられるようになってきました。

部会長  
事務局

地域力分析ブックのポイントを説明願いたい。

地域力分析ブック分析編を中心に説明。今後ビジョンの修正などを行う際に、事業が地域のニーズをとらえているか、地域課題の解決につながるかを考慮していく必要があります。よって、まずは地域の現況を数値から把握することを目的とした分析ブックです。

A委員

2年ほど前の藻谷氏の講演では「この地域は希で人口が増えている、他の地域に比べて伸び率が良い」と聞いた記憶だが、その時の内容と違うと感じるがなぜでしょうか？

事務局

藻谷氏の講演会においては、美濃加茂市・坂祝町・川辺町といった限定された圏域の分析でした。一方分析ブックは、圏域全ての市町村の分析のため、人口減少幅が増加していると思われます。いずれにしても、藻谷氏の分析結果と今回のブックの結果比較について再度分析してみます。

A委員

以前は富士通コンサルが定住自立圏のアドバイスをしていたが、つながりはあるのでしょうか？数値の分析だけで今後の方策がないがこれではよいのでしょうか？

事務局

今回は、なるべく圏域に近い分析機関として名古屋の三菱UFJリサーチ&コンサルティングに委託しました。契約は市の契約規則によるもの。地域力分析ブックは、全ての現象について答えや提案をするものではなく、統計数値データから見えてくる圏域の姿を率直に見せるものです。今後の施策を考える材料にさせていただき、議論や提案が深まれば良いと思います。

C委員

「ここに住んでよかった」と思える内容、強みが地域力ブックには載っていないと感じます。「地域を守りたい」と思えるようどんどん取り組んでいくことが必要ではないかと思えます。

B委員

分析では弱みが多いが、例えば中小企業が大きく地域の雇用を支えているという強みも見えるのではないのでしょうか。難しいことではなく、単独でやってきた事を共同することで良くなる事もあると思えます。小さな成果であっても、もっと実績をPRすることに取り組んではどうでしょうか。

D委員

私は危機感を持っています。そのため、今回つながる事業に参加しました。様々な研修会で、七宗町の危機は真っ先に指摘されます。個人的に考えてみても、美濃加茂市も中心市街地の求心力は落ちているし、地

元七宗町の地域力も落ちていると感じます。圏域の実態を知ることが必要です。

E委員

人口減少など現実の課題としてやはり知ることから始まります。八百津町の人口も半減すると出ています。身近でも子どもが美濃加茂市に住みはじめる人が多いようです。バス事業で、高齢者の移動手段を確保することはよいと思います。八百津町内だけでなく、町外へ行く交通手段が充実すれば、八百津町に住んでもよいと思われるかもしれない。八百津町は大変な状況ということデータをみんなが知ることが必要です。中小企業が頑張っている、そうした企業に経済面ではなく、さまざまな面で支援することで、人口・雇用問題がじんわりと解決するのではないのでしょうか。商店街の活性化も大きな問題で、中心地が空洞化しており、子どもも少なくなっています。高齢者がやめようとする事業を、何かを始めようという若者につなぐことができないのでしょうか。

F委員

白川町の人口も半分になります。中津川市を通るリニアをチャンスにして雇用・産業をよくしたい。これがうまくいかないと、予想通り人口減少となります。他の町より早くこのチャンスを取り入れ、早く動き、定住する人を増やしたいと考えます。

G委員

人口減少は、全国的にも圏域においても明らかでどうしようもないと考えます。白川高校がなくなったことにより、平日は高齢者ばかりですが元気な高齢者は沢山います。道の駅の運営やトマトの栽培で元気な高齢者が活躍しています。高齢者の経験を活かし、元気な年寄りが立ち上げる事業を進めたい。「年寄りでもできるんだ」というところを見せていきたいです。

C委員

地域の中に婚期を逃した方が多く見受けられます。結婚相談所もあるが、なかなか足を運びにくいものです。人口減少の問題や介護の問題につながっていくと考えますので定住の事業として婚活事業をできないのでしょうか。

事務局

7月30日みのかも定住自立圏地域力分析ブック研修会案内。本来なら休日に一般参加募集し開催するところですが、講師の都合等により平日開催となりました。ご理解の上、可能であればご参加願いたい。

部会長

今後の事業の参考のため、他の地域の成功事例を出して欲しい。

事務局

了解しました。

部会長

今回は他地域のさまざまな事例を参考に、現在の事業進捗も確認しながら意見交換したいと考えます。

事務局

それでは本日のWG部会協議を終了し閉会とさせていただきます。

お疲れ様でした。